



【事業タイトル】

協同労働の推進による「誰もが活躍する幸せ実感社会」の実現

現状・課題

- ・福井県は多様な人材が活躍する県である。（女性の就業率2位、高齢者の有業率1位、障がい者雇用率11位）
- ・一方、人手不足が深刻化し、高齢化も急速に進んでいる。（有効求人倍率1位、高齢化率31%）
- ・地域の課題解決を図るためには、潜在労働力のさらなる活用が重要である。
- ・労働者協同組合が1つの解決策となるが、制度利用が進んでいない。（R6年4月末 労働者協同組合設立0件）

めざす方向性

- ・労働者協同組合の普及を図るため、理解促進に向けた取組み・設立支援をさらに進める。
- ・モデル事例を発掘し、設立支援を集中的に行うことにより、県内に労働者協同組合の成功事例を生み出し、他の事例での労協設立の連鎖を狙う。
- ・事例を積み重ねることにより、自発的な動きを誘発し、地域課題の解決を図る。

今後の対策

- ・県事業に加え、国のモデル事業を活用することにより、労働者協同組合設立に向けた支援体制の強化を図る。
- ・県、市町、関係団体等を構成員とする協議会を組織し、協議会を中心に、労働者協同組合の活用を広く促進する。

【事業主体】

【福井県】

- ・産業労働部労働政策課（労協主管課）、各関係部局

【労協】

- ・ふくい協同労働推進ネットワーク
（事務局：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）

【市町】

- ・福井市、鯖江市、あわら市、永平寺町

【県内関係団体】

- ・福井県民生活協同組合
- ・北陸労働金庫 福井支店

【主な事業内容】

- ✓ 勉強会・ワークショップの実施
- ✓ 相談窓口の運営
- ✓ 設立・運営にかかる事業統括員等による伴走支援
- ✓ 多様な雇用機会実現のための支援
- ✓ 労働者協同組合に関する個別相談会の実施
- ✓ 働く人のウェルビーイング向上のための支援

労働者協同組合活用促進モデル事業の概要

1 事業の目的

○ 労働者協同組合の活用を通じ、地域課題に対応し、人材不足に悩む地域に必要な担い手を確保しつつ、個々の事情に応じ 多様な働き方が可能となる環境を整備し、働きづらさを抱える方々（ひきこもり経験者等）や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出することを目的とし、創意工夫ある地域の取組を支援し、全国展開を図るもの。

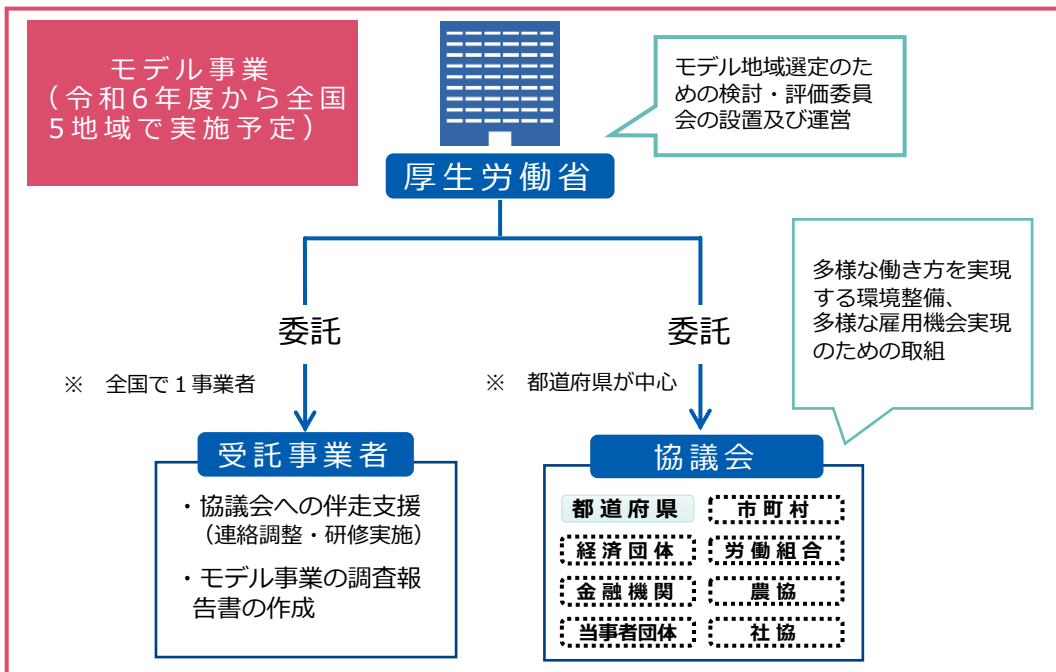
※ 労働者協同組合：令和4年10月に施行された労働者協同組合法に基づき、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら従事することを基本原理とする法人制度

2 事業の内容・スキーム・実施主体等

○ 国がモデル地域として選定した都道府県に設置される協議会において、都道府県が中心となり、市町村や地域の経済団体、当事者団体、農協等の団体との連携・協力を通じ、労働者協同組合を活用して、①多様な働き方が可能となる環境整備や②働きづらさを抱える方々や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出する。

○ 受託事業者は、協議会に対して、専門的知見に基づき、助言や相談等を通じた伴走支援を実施するとともに、国において他の地域への横展開に活用できるよう、本モデル事業を通じて得られた結果をまとめ、報告書を作成する。

○ そのほか、国において、モデル地域選定等のために検討・評価委員会を設置し、運営を行う。



【モデル地域の協議会で実施する事業の例】

- ① 労協活用に向けた相談窓口設置**
労協活用を検討する個人や自治会等からの相談を受付（電話及びメール）
- ② 多様な雇用機会創出のための講習会・ワークショップ**
 - ・労協を活用した地域の担い手確保を検討している個人や自治会等への講習会
※ 行政書士会や司法書士会と連携した講師確保
 - ・講習会に参加した個人等に対して、より少数人数でのワークショップを実施
- ③ 労協とのマッチング支援（面接会の開催、情報発信等）**
 - ・中高年齢層の活躍の場を検討している企業や中高年齢層の労働者とのマッチング
 - ・地域おこし協力隊とのマッチング
 - ・民間企業等で働く副業・兼業希望者とのマッチング
- ④ 多様な働き方実現のための講習会・ワークショップ**
 - ・働きやすさ、働きがいの改善のための雇用管理改善講習会
※ 社労士会と連携して講師確保
 - ・労協を活用して働きづらさを抱えた方々の継続的就労や意見反映を適切に図るための講習会
※ 社会福祉協議会と連携して講師確保